



議会

# ひえづ

2019年5月1日

NO. 158



3月定例会

P2 村長勇退 骨格予算

P6 追跡 議会改革

P8~16 一般質問 村政に喝

P17 村民インタビュー

「ふたり合わせて181歳」

満開の桜の下を  
ウォーキング

# 骨格予算

一般会計	前年度比	87.9%	21億6,423万円
国民健康保険事業特別会計	前年度比	109.9%	3億6,691万円

## 第1回定例会



**総務費**  
4億8,429万円

▲維持管理が必要な庁舎

大幅減額となった。  
主なものは、公有財産購入費と  
村営住宅建て替え工事、福祉避難  
所非常用発電設備工事完了による。

### 一般会計

3月議会は、1日から20日まで開催し、条例改正5件、旧年度補正予算、協議2件は全会一致で可決しました。新年度当初予算については、予算審査特別委員会で集中審議し、議会最終日に討論・採決を行い、一般会計・国保・公共下水道特別会計は全会一致で、後期高齢者特別会計は、賛成多数で可決しました。

**衛生費**  
1億7,151万円



▲気軽に健康管理を（ヴィレステひえづ）

**民生費**  
8億255万円



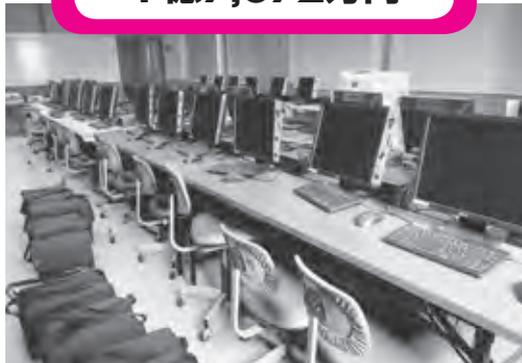
▲いちごの広場さん

**公債費**  
2億3,749万円



▲非常用発電設備（ヴィレステひえづ）

**教育費**  
1億7,872万円



▲小学校パソコン教室

# 新年度 予算

# 村長勇退

後期高齢者医療特別会計	前年度比	100.1%	4,478万円
公共下水道事業特別会計	前年度比	102.7%	1億3,192万円

## 特別会計

### 国民健康保険事業

保険税の税率が据え置きに。

### 後期高齢者医療

今年10月から保険税の均等割9割軽減が廃止になり、保険料が引き上げになる。

### 後期高齢者医療 4,478万円



▲元気に楽しんでいます

### 公共下水道事業

公営企業会計にむけての委託料、下水道処理場の最終沈殿池変更工事費が増額になった。

## 後期高齢者医療特別会計

### 討論

**反対** 江田 加代 議員

平成29年度より特例軽減が縮小、31年度は特例軽減の財源が廃目整理になった。  
特例軽減の対象者は低年金者であり反対する。

**賛成** 松本 二三子 議員

特例の軽減は、制度開始時の激変緩和措置として暫定的に行われた。介護保険料の軽減拡充や年金支援給付金もあり配慮されている。

## 採決

賛成多数

**反対** 三島 江田

**賛成** 河中 松本 加藤 橋井 井藤 松田

## 可決

## 予算審査特別委員会の 審査意見

### 〔総務課〕

・新規事業の予算を拡充されたい。

### 〔住民課〕

・一般廃棄物業者の委託契約は、複数年契約を検討されたい。

・男女共同参画第3次計画のアンケート結果を早急に提出されたい。

### 〔保育所〕

・5月10連休の対応を検討されたい。

### 〔福祉保健課〕

・健康ポイント事業のシステム変更を検討されたい。

・産後ケア事業で、自己負担を軽減できるよう補助を考えられたい。

### 〔建設産業課〕

・村民農園の利用について、具体的な要項を作られたい。

・トレセンの施設備品整備は、村民の要望に答えられたい。

・引き続き水洗化率100%に向けて努力されたい。

### 〔教育委員会〕

・各種事業、企画など村民にもっと周知するよう努力されたい。

# すべて不採択!

## 条例改正

### 日吉津村公共下水道使用料の特例に関する条例の一部を改正する条例

公共下水道使用料については、10年間つづいた減免をなくすため、特例を解き正規料金に返していくよう議決していたが、料金徴収の時期によりシステム改修の金額が高くなるため、開始時期をずらす一部改正が必要となった。

## 議案質疑

**問** 条例改正しなければ、システム改修費用にいくら必要か。

**答** 1回に45万円かかる。

公共下水道特別会計繰出金  
▲430万円



一般会計  
補正予算

うなばら荘  
3,500万円



## 総務経済常任委員会 閉会中の継続調査報告

**請願** 村道2号線交差点の交通事故予防対策のその後は

**【出席者】** 委員4名・局長・傍聴者5名（内議員3名）

**【場所】** 議会委員会室

**【調査内容】** 最初に、住民課長からの現在の取り組みについての説明は、注意喚起を含め、赤色灯の設置と交通安全の啓発活動を進めていくとのことであった。つづいて、建設産業課長からの説明は当該箇所に係る土地の所有者は4名おられ、それぞれの事情から、早急な道路拡幅は困難な状況であるとのことであった。警察・行政・各関係機関などから情報をえながら検討していく。



危険な交差点

# 委員会採択の陳情

## 陳情 第1号

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情

【陳情者】日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子

総務経済常任委員会  
採択

〔討論〕

**【賛成】 河中 博子 議員**  
米軍基地問題は日本国中の問題。全国知事会は地位協定の抜本的改正を満場一致で採択した。国は地方自治を無視しており、自治体にとって最重要課題だ。

**【反対】 加藤 修 議員**  
国や県の責務で行う事務については、村議会で議論すべきではない。村民も村に直結した議論を望んでいるはず。不採択するべきものである。

**【反対】 井藤 稔 議員**  
全国知事会の国に対する宣言を巧みに利用したものであり、陳情者の真意が秘されているとともに、全国知事会の宣言と趣旨が相違する。

**【賛成】**  
河中 三島  
江田

**【反対】**  
松本 加藤  
橋井 井藤  
松田

不採択

## 陳情 第2号

後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める陳情

【陳情者】鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一

教育民生常任委員会  
採択

〔討論〕

**【賛成】 河中 博子 議員**  
窓口負担を2割にすると2倍の値上げだ。受診抑制で重症化し、かえって医療費が増加しかねない。予算を長年にわたって削り続けてきた。国民の生命・健康は第一に考え、無駄な経費を削ってでも配分すべきだ。

**【反対】 松本 二三子 議員**  
広域連合で声を上げ続けていただいていること、世代内・世代間の公平性と、先のことを考えた社会保障の持続性のために今回意見書をあげるべきではない。

**【賛成】**  
河中 三島  
江田

**【反対】**  
松本 加藤  
橋井 井藤  
松田

不採択

## 陳情 第3号

教職員の長時間過密労働の解消を求める陳情

【陳情者】鳥取県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 市谷 尚三

教育民生常任委員会  
採択

〔討論〕

**【賛成】 江田 加代 議員**  
国の「教員勤務実態調査」の結果にあるように教員の長時間労働は限界にきており、教育への深刻な影響が心配される。以上の理由から国の責任で抜本的な解消を求めること。

**【反対】 井藤 稔 議員**  
中教審からの答申を受け、すでに文科省に推進本部が立ち上がっている。具体的な改革に入っており、陳情項目以上の検討が行われ、今年末までに方針が示される予定。結果を見守るのが妥当。

**【賛成】**  
河中 三島  
江田

**【反対】**  
松本 加藤  
橋井 井藤  
松田

不採択

# これからが本番！



に必要な条例などの整備を行ってきました。  
・実行していく段階です。

## 現在までの取り組み

### 議会改革特別部会の設置

すでに議会基本条例のある境港市議会を訪問し、意見交換を行った。



▲境港市議会との意見交換会

### 大学教授への監修の依頼 (H28・5・9)

関西学院大学の森脇俊雅名誉教授に監修等をお願いした。

### 講習会、視察等の実施

議員対象の講習会 (H28・6・24)、議員・職員合同の講習会、県外視察先での意見交換などを実施した。



▲部会での検討のようす

### 試案の作成・パブコメの実施

試案を作成し、パブリックコメント (H28・10・13~12・31)、自治会への出前説明会 (H28・11・8~12・18) を実施した。

# 追跡 議会改革の推進

議会では、議会基本条例など、議会改革  
これからは、改革を決断



▲記念講演会開催

## 記念講演の開催

(H29・1・15)

制定に伴う村民対象の記念講演を開催した。

## 整備した条例等の施行日

- 議会基本条例  
(施行) 平成29年4月1日
- 議会議員政治倫理条例  
(施行) 平成29年10月1日
- 議会議員政治倫理条例施行規程  
(施行) 平成29年10月1日
- 議会の議決すべき事件に関する条例  
(施行) 平成30年7月1日



▲将来をどう形づくるか  
(イオン屋上から王子製紙展望)

## 今後必要な検討課題

### 議会・議員の使命と役割の再確認 (基本条例 第2条・第5条)

基本をしっかり確認した上で、改革を推進。

### 議会機能の強化 (基本条例 第4章「村長との関係」)

ハード、ソフト両面からの機能強化。

### 情報共有のあり方

議会と行政、議会と村民の双方向の情報交換のシステムについて。

### 議員間討議のあり方

政策提言等に結びつく意見交換の場を検討。

### 広域連携のあり方

議会の広域連携のあり方について。

# 村政に

# 喝



## 【3月4日(月)】

議員	ページ	質問事項
加藤 修	9	1. 村道2号線道路整備は 2. 日吉津の未来プロジェクトは
松田 悦郎	10	1. 王子製紙と火災協定を 2. 人口対策IJUターン促進を
井藤 稔	11	1. 新たな3事業への予算づけは 2. ホームページの例規集の整備は 3. 名誉村民制度の運用と活用は
河中 博子	12	1. 16年間の総括と今後の方向は
江田 加代	13	1. 全国一斉学力テスト不参加の考えは 2. 国保保険料の抜本的軽減策を

## 【3月5日(火)】

三島 尋子	14	1. 消費税10%村民への影響は 2. うなばら荘、広域への納入金減額を
松本二三子	15	1. 子育て支援の成果と将来は 2. ふるさと納税の状況は
橋井 満義	16	1. T氏との土地取引清算と課題は 2. 村の水害対策を急げ



加藤 修 議員

# 村道2号線道路整備は

## 村長 交差点の改良は必要



▲止まらない交差点

**Q**

村道2号線交差点への信号機設置の請願が出され、全会一致で採択された。信号機設置に向けての道路拡幅等、条件整備について伺う。

**A**

村長 村道2号線交差点についてはカーブミラー設置や止まれ・事故多発の標示、カラー舗装や減速表示など行ってきた。

米子警察署も危険箇所として認識している。交通事故防止対策とあ

わせ、毎年信号機設置についての要望書を鳥取県公安委員会へ提出している。

また、12月議会での請願を受け、再度米子警察署へ要望を行ったが交差点形状等に問題があるため、信号機の設置は困難であり、この解決のためには用地

買収や建物の移転等、交差点改良の必要性がある。

今後、2号線交差点の交通事故防止対策と、注意喚起の看板設置などを検討していく。

**Q**

日吉津の未来プロジェクトについて、6年生が行った「町の幸福論—コミユニティデザインを考える」の学習のまとめなどの内容について、伺う。

**A**

この授業風景は、ひえづ113チャンネルで放送された。授業に参加した感想として、現状の認識・関連データ等の検討をふまえ、日吉津村民であるという自覚とともに

日吉津の未来プロジェクトは  
教育長 子どもの未来の夢として共有



▲未来をつくる日吉津の子

- ①子どもが多くて、にぎやかな村
- ②季節で楽しめる村
- ③水辺の楽校で人々がつながる
- ④夜でも明るい安心・安全な村
- ④特産物で、つながる知名度UPの村、日吉津村
- ⑤村の魅力が感じられる村
- ⑤チューリップマ

に自信をもって発表していた。

①子どもが多くて、にぎやかな村

②季節で楽しめる村

③水辺の楽校で人々がつながる

④夜でも明るい安心・安全な村

④特産物で、つながる知名度UPの村、日吉津村

⑤村の魅力が感じられる村

⑤チューリップマ

ラソンでつながるなど、8つのテーマがあり、国語科の授業で学習したことを、発展させた学習活動。要望活動ではなく、子どもの未来に向けた夢として、大人としても共有しておくことが大切だと考える。



松田悦郎 議員

# 王子製紙と火災協定を

## 村長 火災協定は考えていない

**Q** 王子製紙と村では公害防止協定はあるが、火災に関する協定がない。

糸魚川市の大火災を受けて、大工場がある

自治体は広域消防応援協定など考えている。

住民の安心感につながる火災協定を結ぶべきでは。

**A** 村長

王子製紙と火災協定はないが、村民の生命や財産を守る義務がある。

火災の際には、西部

広域消防局や村消防団、王子製紙と連携し情報収集を行い、行政無線でできるだけ早く、村民に情報提供を心がけている。

村民の生命や、財産に影響がないと思われる情報は、逆に村民が不安に思われる恐れもある。情報提供のタイミングや内容は、行政の判断によるのが現状である。

とくに村消防団は、化学薬品に対する装備

や、知識はない。

西部広域消防局から情報をえて応援出動が最善と考える。今のところ火災協定は考えていない。

**Q** 15歳から35歳の若年層は、地元から流出が多い。

本村も人口がピークと言われている。今後も人口対策を維持しながら、若年層のIJUターンの促進を考

人口対策IJUターンの促進を

村長 さらに意見を聞き検討したい

**A** 村長

近年では、二世代で住める住宅が十分にあるといえど多少無理がある。

村では新規住宅利息助成が42件、宅地化農地、空き家などを定住につなげた軒数は74軒と大きな成果がある。

31年度地方創生総合戦略見直しの中で、IJUターンの促進に向けては、皆さんからご

**Q** 若年層対策IJUにつながる6次産業の思いは。

**A** 建設産業課長 農産物の付加価値を付ければ販売と所得の向上になるし、雇用の増加や地域活性化につながると思うので、農地基盤整備を検討したい。

意見伺いながら、さらに検討したい。



▲村内にも6次産業を



▲火災時には西部広域消防局の指示で行う



井藤 稔 議員

# 新たな3事業への予算づけは

## 村長 新しい村長により判断される



▲活動拠点整備予定地（保育所など）

**Q** 先日、村長は勇退表明をされた。首長が変わっても行政の継続性は必要であり、新年度の組織改正、骨格予算等について伺う。

①行政組織の変更は。  
②子育て活動拠点の整備事業、自治会への新しいコミュニケーション支援事業、議会改革関連事業など、新たな3事業への予算づけは。  
③予算づけをしなかった理由は。

**A** ④つぎの村長に託す事項は。  
**村長** ①変更はない。新しい村長が必要かどうか判断されると思う。②現時点では、新たな予算づけはしていない。③骨格予算であり、肉づけの段階で新しい村長により判断されると思う。④これまでの施策の方向と、広域課題での村の立ち位置はひき継いでもらいたい。

**A** **村長** ①平成22年度から経費削減のため。②総務課で行っている。③約280万円。データベースだけの管理は、日吉津と日野町だけ。④現在は、新しくできたものから、すべて掲載している。過去掲載できなかったデータも、

**Q** 一部掲載されていないことが判明した。  
①冊子からホームページへの掲載に変えた時期と理由は。  
②掲載の判断や作業は、だれが行っているか。  
③経費はどれくらいか。また、西部他町の状況は。  
④問題点と今後の改善方針は。

ホームページの例規集の整備は  
**すべて掲載するように改善する**

**Q** ①審議会への過去の諮問状況  
②候補者の把握についての考えは。  
③上位の表彰などとの関係は。  
④運用するための検討は必要ないか。

**名誉村民制度の運用と活用は**  
**村長 研究・検討してみる**

サーバーの変更により、4月から可能となる。



▲にぎわいが続く水木しげるロード（境港）

**A** **村長** ①諮問したことはない。するかどうか議論したこともない。②職員やメディアなどさまざまな情報から把握すべきだと思う。③名誉県民、国民栄誉賞などとの併称は可能と考える。④運用できるように研究してみたい。⑤研究・検討してみたと思う。



河中博子 議員

# 16年間の総括と今後の方向は

## 村長 参画と協働の村づくりができた

**Q** 16年間の総括とそれを今後はどう生かすのか。

**村長**

**A** 平成15年4月、合併問題の時に就任した。結果的には住民投票を選択したが、その前に行財政検討委員会

で議論をしていただき、村民の皆様にも負担があったと思うが、私自身も身を切る判断をした。

そのことが、村民の皆様のご理解をいただきながら、その後の村政運営を行う契機とな

った。

村民の手によって作られた自治基本条例。これは村づくりのあり方や、村の方向づけをする大きな条例になった。

常設型住民投票条例は、今後、村民の総意で村づくりをするための財産になるのではないかと思っている。

ヴィレストの建設では、一年半をかけて議論をしていただきできた。

他にも、小学校の芝生化をボランティアで進めていただき、村づくりの議論や方向性について、参画と協働の村づくりを進めるこ

とができた。

**Q** うなばら荘をみんなに喜ばせる施設に。

**村長**

**A** 営業体制の再構築や新規顧客の獲得職員の意識の高揚をはかりながら、顧客満足度の向上をめざしている。

**Q** 農業を持続可能にする施策は。

**村長**

**A** 持続可能な農業を進めて行くためには、課題が山積している。担い手育成・確保

は喫緊の課題ではあるが、用排水や水路の問題、面積が小さく効率的な営農がむずかしい



▲新装成ったうなばら荘ロビー

など、担い手確保と同時にほ場整備も進める必要がある。今後は、農家のみなさんが、危機感をもつて、気持ちを切りかえていただくことが行政に課せられた役割。そのため施策はこれから考えなければならぬが、今の段階ではそこまで議論が煮詰まっていない。

さて、自分自身やわが村のあり方、姿に誇りを持つてもよいのではないかと控えめな村民性もあるかもしれないが、もっと誇るべきだと思う。

村ホームページは大幅なりニューアルをし、トップページには、公共施設の利用案内やアクセスでできる工夫している。また各種SNSと連携し、村内外に魅力発信をはかるつもりだ。

**Q** 村ホームページで魅力ある情報発信を。

**村長**

**A** 魅力発信につ

魅力発信につ

外に魅力発信をはかるつもりだ。



▲庁舎周辺



江田加代 議員

# 全国一斉学力テスト不参加の考えは

村長 **不参加は考えていない**



▲私たちは日吉津小学校を卒業します。未来に向かってGOー！

**Q**

教員の過労死ラインを超える勤務実態が大きな社会問題になっている。

学力テストについて、これまでも「テスト対策のため授業時間が費やされている」と中止を求める声も聞いてきた。

学力テストが教員の多忙化の要因になっているとの指摘について

**A**

また、全国学力テスト参加を中止する考えはないのか。

近年の学校の指導において、教科の指導、道徳、特別活動総合的学習の時間の業務が非常に増えてきた。最近ではキャリア教育、消費者教育、租税教育、また、全国的に何か大きな問題が起きると、施策として学校

でこんなことができないかということが必ず起きてくる。

多忙になるが、それだけが要因ではない。働き方改革というかけ声のなかで、教員の自覚が少しずつ芽生えつつある。

徐々に、時間外勤務が少なくなっていくのではないかと思っている。そうなるよう指導していきたい。

全国学力テストの不参加は考えていない。

**Q**

全国知事会・市町村会は、国に国保料を協会けんぽ並みに引き下げると、1兆円の公費負担増を求め提言してきた。実現に向けた具体的動きはあるか。

**国保保険料の抜本的軽減策を**

村長 **もう少し先を見極める必要がある**

**A**

村長 国の公費を多く、ということはあるが、制度の小さなどころまで国として、踏み込んで欲しくないというのがわれわれ自治体の立場である。

**A**

減免を行っている。本村でもできないか。

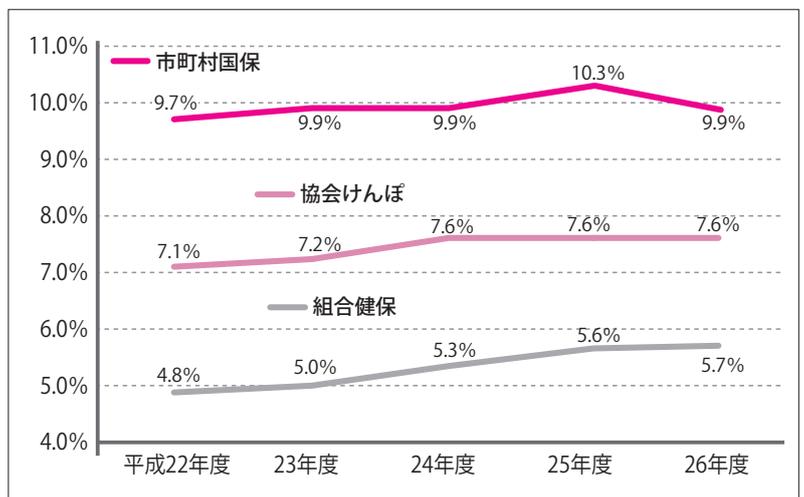
村長 国は、激変緩和を30年度を含め、6年間の対策だとしている。

もう少しその先を見極める必要がある。

**Q**

仙台市では、一般会計からの繰り入れをして、独自

所得に占める保険料の割合（国保新聞より）



▲せめて「協会けんぽ」並みの保険料に



三島尋子 議員

# 消費税10%村民への影響は

村長 軽減税率が導入されても

影響は必然

**Q** 消費税増税は国民にとって、

とくに、高齢者・低所得者にとっては「これからの暮らしは不安でいっぱい」と、心穏やかではない。

増税方針に賛成という方も含めて、「こんな経済情勢のもとで増税していいのか」「景気がより悪化するので

は」など、批判や懸念の声が広がっている。

日本銀行の「生活意識に関するアンケート調査」で、1年後の景気は今より悪くなるが

40%、良くなるは8%。東京商工リサーチが全国の企業に行ったアンケートでも、景気は悪くなるが58%、現状維持が37%で、企業も増税による景気悪化への懸念を強めている。

消費税を10%に引き上げた場合に、村民や地域経済への影響をどう考えるか。

**A** 村長 国の方針は10月であるが、それをよしとしない評論家の意見も、書き物に公表されている。

政府の決断がくつがえる可能性もでてくるが、自治体を運営する者はそういうわけにはいかない。

軽減税率が導入されても、少なからず影響があるのは必然である。全国的な問題であつて、一自治体の発言は不適切と考える。

**Q** うなばら荘、広域への納入金減額を

うなばら荘、広域への納入金減額を

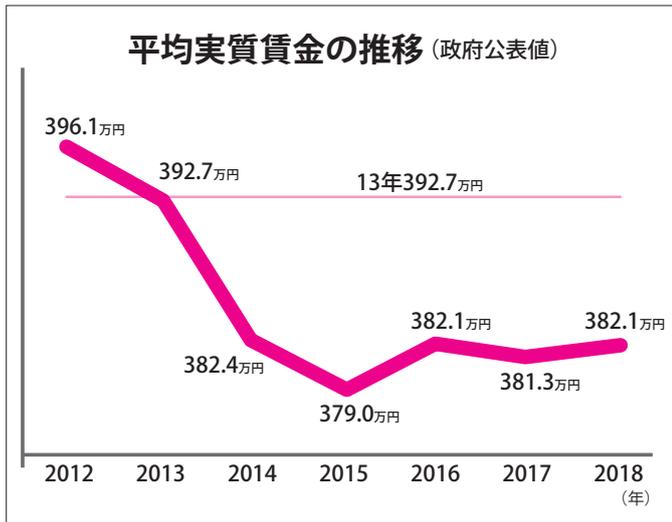
**Q** うなばら荘は、村が温泉と土地を無料で提供し、広域組合が設置した施設。

当初、赤字になった場合のことも広域構成首長会で検討されている。納入金の減額交渉をすべきでは。

**A** 村長 出発の土台が

揺らぎつつあるので、今後のあり方検討会に引き継ぎ、後任の首長にしっかりと伝える。

平均実質賃金の推移 (政府公表値)



▲2013年と2018年では約10万円下がっています

家庭消費・実質賃金も落ち込んでいる今、

日本共産党日吉津支部が村全世帯に行った暮らしアンケートでも、先が不安、苦しくなつた、大変苦しいを合わせ58%。消費増税に反対が62%、賛成は13%である。

▲すばらしい環境のうなばら荘





松本二三子 議員

# 子育て支援の成果と将来は

村長 一定の評価はえた、あとは継続を



▲10年後、村に何人いるのかな～？

**Q**

「子育てするなら日吉津村」と、子育て支援に尽力いただいた。子育て世代の人口が増えたのも支援対策のおかげと考え、質問する。

① 子育て支援の取りくみの中で、成果が大きかったものは。  
② 反対に、成果の上からなかった対策は。  
③ 村に家を建てる理由

**A**

「子育てするなら日吉津村」と、子育て支援に尽力いただいた。子育て世代の人口が増えたのも支援対策のおかげと考え、質問する。

は、児童館や箕蚊屋中学校の給食実施だけで十分だった。しかし米子市の中学でも給食が実施されて、学童保育にも力を入れられてきた今、村独自の魅力はどう出すのか。

④ 将来、村で生まれた子ども達が、村で子育てをしてくれるのが理想だとも思うが、そういった取りくみは。

村長

① 26年からの

ひえづ版ネウボラは、視察に来られることも多くなり、一定の評価をいただいたと思う。

出生率は2・11と高いが、待機児童を出さないことなど、継続させていくことが重要。育児パッケージなども喜んでもらっている。

② 両親学級、育児学級等は参加者集めに苦労。

③ 村に家を建てたいが、土地がないという声も聞くが、宅地も増えて新築への補助もあり、住宅も増えてきている。

④ 自分達のふるさとに誇りをもてる子どもにUターンしてくれることを、あきらめてはいけない。

**Q**

お礼の品に地場産品が多くあるが、人気があるものは何か。

② ふるさとチョイス以外の利用は順調か。

③ 29年度に激減した、寄附額はどうなったか。

村長

今年度は伸びてきている

ふるさと納税の状況は

**A**

村長

① 以前に比べ、物は、ネピアのティッシュやアスパルの肉類、村内の伯耆のきのこ、ピエツコーヒー、丸平珈琲、いちごの広場などにもお願いしている。

② ドコモケータイ払い、楽天、ANAなど順調。

③ 29年度は2000万円。30年度は3400万円の予定。



▲日吉津村の地場産品の一例



橋井満義議員

# 丁氏との土地取引清算と課題は

## 村長 30年来の相互理解で決着

**Q** 丁氏との土地取引については

平成元年から30年を経

過し、ようやく結論を出すに至った。最終的な金額はいくらか。



▲土地取引状況図

(■部分は買い取った土地、I・IIは売却した土地)

村有残地田園居住区

内、図①②の土地面積4440㎡(1343坪)の利用計画はどう

考えているか。仮に坪単価13万円とすれば今回の取引価格と相殺にも見えるが、所見を伺う。

うなばら荘北側の松林が村所有となったが、海岸までの遊歩空間として、あずま屋を生かしたスペースを提案したいが、どうか。

**A**

村長

昨年12月定例会において、財産取得契約にもとづき1億7520万円を支払い、登記を完了した。

取得した土地はそれ

ぞれの目的で有効に活用していく計画である。

田園居住区内の土地は、公共の利用は考えづらく売却すること、村が直接行うことはできない。民間の業者との話し合いになると思う。この土地については当事者も苦慮された経緯があり、最大の譲歩であったと考えている。

うなばら荘北側は、あずま屋も老朽化しており総合的に考えたい。



▲非常用発電設備 (社会福祉センター)

村の水害対策を急げ

村長 新たなマップで啓発する

**Q**

近年、予想をこえる災害が多発している。水害に対する備えが急務である。これらの対策と避難所の安全について、浸水高を提示し非常用発電設備の設定施設とその概要の説明を。

村長

浸水深が見直しになり、新年度には新たなハザードマップにもとづき、自治会で説明会を開く予定。

非常用発電設備は、役場庁舎、小学校・体育館、ヴィンステ、社会福祉センターへ設置してある。

今後は、水害タイムラインに沿って、72時間前から知らせることになる。

# 村民インタビュー

ますます元気！ふたり合わせて181歳！



清水ハル子さん 入江二生子さん

元気の源は何でも話せる友がいること。

戦中・戦後をたくましく生き抜いてこられたふたりにお聞きしました。

「自己紹介をお願いします」

**入江さん**

昭和2年生まれ、92歳。日吉津に52歳のとき来ました。

**清水さん**

昭和5年生まれ、89歳。48歳のとき日吉津に家を建てました。

「一日をどのように過ごしておられますか」

**入江さん**

朝起きて布団の上で5分間手を伸ばしたり足を伸ばす体操をします。体操が終わると自分で布団を畳んで押し入れにしまえます。

**清水さん**

毎日ではないけど福祉センターに行くこと。元気が出て若返る感じがなあ。

「これまでの人生で嬉しかったことは……」

**清水さん**

嬉しかったこととちよつと違うけど。

終戦後、26歳から隠岐汽船の中の売店で働いた、つぎつぎに物が売れてお金を数える暇がなかった、一斗缶に敷き詰めたお金が、ちり紙に見えた。



▶30歳の頃の清水さん  
あら！手に1万円札が

**入江さん**

風呂屋で働いて2000円ももらった。革靴とスカートを買った時、嬉しかったよ。今は何でもあるけんあー、こんな話わからんわな。

「戦争中はどんな生活だったんですか」

**入江さん**

私は大篠津駅の女子

挺身隊に強制的に入らされて、働かされた。

土日になるとグラマソンが、赤い火をパツパツと出して予科練を放射した。自分は机の下に隠れたが、いの一歩に隠れたのは隊長だった。

**清水さん**

自分は満州にいたが戦争に負けると逃げることで必死だった。まるで地獄だった。

17歳で日本に帰ったが、萩の港に着いたとき皆で泣いて喜んだ。今でも夢をみる。

◀2人合わせて170歳、いつも一緒です  
(5年前の写真です……)



「最後に議会と行政に意見などありますか」

**入江さん**

前村長さんは、気軽に「元氣かや」と、「がんばらないよ」と、心安げに声をかけてくれました。

「こんにちは」だけじゃいけんよ。つぎの村長さんにも、そのようお願いします。

ありがとうございますました。ばあーばあーは何でも知ってる生きた資料館のようでした。

# 議会のうごき

## 鳥取県町村議会 女性議員研修会

とき 1月31日(木)  
ところ ホテルセントパレス倉吉

女性議員の声を政治の場に届けようと、昨年「政治分野の男女共同参画推進法」が成立しました。

依然として、町村議会へ女性進出は進展せず、女性ゼロ議会が問われています。

町村議会の将来に向け、女性議員の必要性、後継者作りなど熱く討論しました。



## 第26回県町村議会 広報コンクール表彰

とき 2月20日(水)  
ところ ホテルモナーク鳥取



昨年に引き続き、今年も「議会ひえづ」が優秀賞をいただきました。

手に取って読んでいただける議会広報紙を目指し、原稿・写真・レイアウトにこだわって作ったことが評価され、今後の励みにもなりました。これからも「議会ひえづ」をよろしくお願いします。

## 桜堤村民憩いの場 王子製紙と清掃作業

とき 4月8日(月)  
ところ 日野川堤防

議会恒例の、日野川桜堤清掃作業を、王子製紙米子工場と行いました。

平成5年に、30本の植樹から始まり、長い歴史を経て、いまでは160本の桜の木となりました。

今年も桜が満開となり、多くのおみなさんが散策を楽しまれました。



## 編集後記

天皇陛下ご退位により、平成は4月30日幕を閉じ、今日から令和の始まりです。

振り返ると、平成5年に皇太子さま小和田雅子さんと成婚、12年に高橋尚子さんオリンピックで金メダル、14年に拉致被害者5人が帰国。一方では、悲しいできごととして、23年には記憶に新しい東日本大震災などがありました。

みなさまの平成は、どのような時代であったでしょうか。

次号からは、新体制がスタートします。ご協力いただきましたみなさまに、感謝申し上げます。

— 松田 記 —

## 表紙

富吉ノルディックウオーク同好会のおみなさん。

## 【議会広報広聴常任委員会】

松本一三子・三島 尋子  
松田 悦郎・井藤 稔  
江田 加代